【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公表番号】特表2011-510211(P2011-510211A)
【公表日】平成23年3月31日(2011.3.31)
【年通号数】公開・登録公報2011-013
【出願番号】特願2010-543223(P2010-543223)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｃ　18/02　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｃ　18/02　　３１１Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成24年1月12日(2012.1.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
それぞれの基部と、前記それぞれの基部から突出するそれぞれのスクロールリブとを有し、それらが互いに係合するように構成された複数のスクロール圧縮機体と；
シャフト上に回転出力を提供する駆動ユニットであって、前記シャフトは、前記複数のスクロール圧縮機体の一つを駆動するように作動して流体を圧縮するための相対的な運動を可能とするように構成された、駆動ユニットと；
前記シャフトに取り付けられる釣り合い重錘とを備え；
前記釣り合い重錘は：
（ａ）第１の軸の周りに画成される、前記シャフトに作用する、前記シャフトとの第１の接触面と；
（ｂ）前記第１の軸とは異なる、第２の軸の周りに画成される、前記シャフトに作用する、前記シャフトとの第２の接触面とを有する；
流体圧縮用のスクロール圧縮機。
【請求項２】
前記接触面の一方は、前記釣り合い重錘を前記シャフトに対して所定の角度位置に配置し、前記接触面の他方は、前記釣り合い重錘を前記シャフトに固定する締りばめを形成する、請求項１に記載のスクロール圧縮機。
【請求項３】
前記釣り合い重錘は、カラー部と、オフセットした質量中心を有する重量部とを含み、前記カラー部は、前記第１および第２の接触面を提供するための円形の開口部と少なくとも部分的なカウンターボアとを有する、請求項２に記載のスクロール圧縮機。
【請求項４】
前記シャフトとの前記第１の接触面は、締りばめを形成する前記円形の開口部によって画成され、前記シャフトとの前記第２の接触面は、前記釣り合い重錘を前記所定の角度位置に配置する前記少なくとも部分的なカウンターボアによって画成される、請求項３に記載のスクロール圧縮機。
【請求項５】
前記シャフトとの前記第１の接触面は、締りばめを形成する前記少なくとも部分的なカウンターボアによって画成され、前記シャフトとの前記第２の接触面は、前記釣り合い重

錘を前記所定の角度位置に配置する前記円形の開口部によって画成される、請求項３に記載のスクロール圧縮機。
【請求項６】
前記配置のための前記接触面は、角度を隔てて設けられた２つのタブ上に形成され、角度を隔てて設けられた前記タブの各々は、前記シャフト上に前記釣り合い重錘を配置するために、前記シャフトと係合する部分的な円筒壁セグメントを画成する、請求項２乃至請求項５のいずれか一項に記載のスクロール圧縮機。
【請求項７】
前記タブは、許容寸法感度を略最小にする所定の位置に設けられる、請求項６に記載のスクロール圧縮機。
【請求項８】
前記シャフトは、前記第１の軸に略同軸に設けられた円筒セグメントと、前記第１の軸からオフセットして設けられた偏心環状セグメントとを有し、前記偏心環状セグメントは、前記スクロール圧縮機体の一方の駆動ハブに係合するように構成されるとともに、前記第１のシャフトとの接触面は前記偏心環状セグメントを受け入れる円形の開口部を含み、前記第２のシャフトとの接触面は、前記円筒セグメントに係合する少なくとも部分的なカウンターボアによって画成される、請求項１又は請求項２に記載のスクロール圧縮機。
【請求項９】
組み付けを容易にするために、シャフトと釣り合い重錘に温度差を与えるステップであって、前記シャフトは、中心軸に略同軸に設けられた中心環状セグメントと、前記中心軸からオフセットして設けられた偏心環状セグメントとを含む環状セグメントを有する、温度差を与えるステップと；
前記シャフトに前記釣り合い重錘を組み付けるステップと；
前記釣り合い重錘を前記環状セグメントのうちの第１の環状セグメントに配置するステップと；
前記釣り合い重錘を前記環状セグメントのうちの第２の環状セグメントに係止するステップとを備える；
スクロール圧縮機アセンブリのシャフトに釣り合い重錘を取り付ける方法。
【請求項１０】
前記温度差を取り除いて、前記環状セグメントのうちの第２の環状セグメントに前記釣り合い重錘を係止するステップをさらに備える、請求項９に記載の方法。
【請求項１１】
前記釣り合い重錘に形成された開口部を加熱することにより熱膨張させるステップと；
前記釣り合い重錘を前記偏心環状セグメント上で摺動させるステップとをさらに備える；
請求項９又は請求項１０に記載の方法。
【請求項１２】
前記釣り合い重錘に設けられた少なくとも部分的なカウンターボアに前記中心環状セグメントを着座させるステップをさらに備える、請求項９乃至請求項１１のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１３】
前記配置するステップは、前記釣り合い重錘の質量中心を前記中心軸に対して角度位置において位置決めするステップを有する、請求項９乃至請求項１２のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１４】
前記釣り合い重錘と前記駆動シャフトとを２つの所定の接触位置において接触させることにより前記角度位置において位置決めをおこなう許容寸法感度を最小に設けるステップをさらに備える、請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
前記接触位置を提供するために、２つのタブを角度を隔てた配置において設けるステッ

プをさらに備える、請求項１４に記載の方法。